

人生の先輩から…

～100年健康・シニア活躍～



はぎわら
萩原 よし子さん
(笹目・85歳)

「戸田で過ごす日々」

笹目に生まれ育った萩原さん。子どもの頃の戸田市は、自宅から蕨駅が見えるほど辺り一面に田んぼや畑が広がっていました。その風景を思い出しながら現在の街並みを見ると、違う世界に来たようなどこか不思議な気持ちになるそうです。

萩原さんは、自身の子どもたちが大きくなるまで多忙な日々を過ごしました。嫁ぎ先は自転車屋と畑仕事を家業としており、毎朝4時半にお店を開け、開店待ちのお客さんの対応をしてから急いで畑へ移動し、畑仕事をこなしていました。時には軽トラのパンク修理など予想外の依頼をされることもありましたが、お客さんのためにできる限り対応しました。仕事をしながらの育児と家事の両立は目が回りそうなほど大変だったそうです。ただ、そんな日々を重ねてきたからこそ今でも健康で、自慢の孫たちと楽しい時間を過ごしたり、グラウンドゴルフや元気体操に通えているのだと言います。

「今の楽しみはみんなで集まってお話しすること」と話す萩原さんの周りには、穏やかで優しい笑顔にあふれた仲間がたくさんいます。そんな仲間たちとお互いに元気を与え合い、日々を健やかに過ごしていました。

こどもアート館



ひらい さいか
平井 彩加さん
(戸田東小学校3年)

作品名

「ランドセル号で うちゅう旅行へレッツゴー！」

わたしはいつかうちゅうに行きたいので、ランドセルのロケットでうちゅう旅行をしている絵をかきました。手形を星にして、光の感じもくふうして、うちゅうのふんいきが出せる様にこだわりました。



広告

庭木1本 3m未満 **3,300円** (税込)

庭まわりの囲りごとに、若さ溢れる有資格者のプロが対応!

フリーダイヤル 0120-187-394

川口本店 川口市柳崎5-7-19 受付時間 9:00~18:00 無休

株式会社 **大和グリーン**

お見積もり無料

10%引き +10%引き

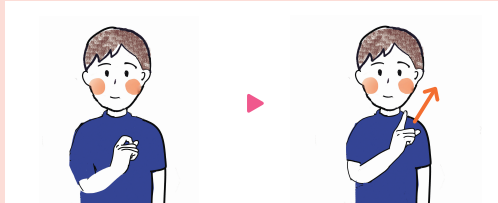
手話でコミュニケーション

第27回

今月は、熱・風邪を表す手話を紹介します。

問い合わせ 障害福祉課(内線297)

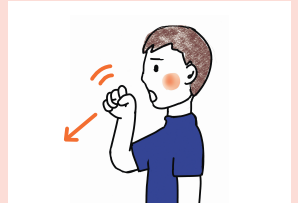
1 熱



人差し指を親指につけた右手を軽くにぎり、左胸脇につけ、

人差し指を上へ上げながら立てます。

2 風邪



右手拳を口にあて、斜め前方に軽く2回出す(咳のしぐさ)。